

予備自衛官 5 日間招集訓練を支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は7月3日（金）から7日（火）までの間、陸上自衛隊高田駐屯地において、予備自衛官5日間招集訓練を支援しました。今年度新潟県で実施する最初の招集訓練であり、第2普通科連隊（連隊長 1陸佐 古賀理都靖）が担任し、予備自衛官116人が参加しました。

今回の招集訓練では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出頭予定者に対して事前に健康状態を把握するチェックシートを配布し、出頭までの2週間の健康状態をチェックし、異状を感じた場合には出頭を自粛するよう呼びかけました。更に、当日の出頭受付でも検温、問診、消毒及びマスク着用の徹底等の感染対策を行ったことにより、出頭者に感染等の症状は見られなかったため、予定通り訓練は開始されました。

訓練項目は精神教育、武器訓練、救急法、通信訓練、特殊武器防護訓練等を実施し、各予備自衛官は、必要な知識及び技能について復習を行い、練度の維持・向上を図りました。



特に、近年装備された止血帯付き救急包帯などを使用した救急法訓練では、最新の器材の使用方法について、積極的に質問し慣熟を目指す姿も見られました。参加した予備自衛官は、「新型コロナウイルスの影響について、事前のチェックや感染対策などが万全で、安心して訓練に参加できた。新しい装備も使いこなせるようにしていきたい」と話しました。

新潟地本は、今後も感染症対策を行って出頭予備自衛官の安全を図り、身上把握、出頭確認、部隊に対する支援を的確に行っていきます。